

平成 29 年度 事業実績報告書

社会福祉法人 窓 ふじの子第二保育園

1. 園児の確保

(1) 入所児童の状況

	定員	組数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
0歳児	8	1	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	96
1歳児	11	1	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	132
2歳児	12	1	12	12	12	12	12	12	12	12	12	11	11	11	141
3歳児	13	1	10	10	10	11	11	11	11	11	11	11	11	11	129
4歳児	15	1	13	13	14	14	14	14	15	15	15	15	15	15	172
5歳児	16	1	8	8	8	8	8	8	8	8	8	7	7	7	93
計	75	6	62	62	63	64	64	64	65	65	65	63	63	63	763

入退所状況

- ・ 6月 1日 入所 4歳児 1名
- ・ 7月 1日 入所 3歳児 1名
- ・ 7月 31日 退所 5歳児 1名
- ・ 8月 1日 入所 5歳児 1名
- ・ 8月 31日 退所 2歳児 1名
- ・ 9月 1日 入所 2歳児 1名
- ・ 10月 1日 入所 4歳児 1名
- ・ 12月 31日 退所 2歳児 1名
- ・ 12月 31日 退所 5歳児 1名

(2) PRの方法

- ・ 地域の方、保護者の方は、特にホームページで保育内容を知り、園児の活動や表情を楽しんでいる声を聴き、来年度に向けてより一層、園運営の理解が深められるように取り組みたい。
- ・ 子育て支援事業に多くの方に参加していただけるように講師招聘の時期や取り組み方を工夫した効果があり、充実感を持って参加できていた。
- ・ 園見学者が来園での説明は、丁寧にゆったりとした雰囲気で行ったのでよく理解して貰えた。

(3) 入園の方法

- ・ 藤井寺市保育幼稚園課で決定後、本園での親子面談もスムーズに運べた。特に問題はなかった。

2. 教育、研究の推進

(1) 保育目標

- ・ 「子どもは宝」の基本理念は、保護者にも浸透し、保育者と一緒に考え、工夫できる力や互いに話し合う力が付いてきた。

(2) 教育課題

- ・ 保育所保育指針の改訂に伴い、育てほしい子どもの姿を各学年の保育者が指導計画に盛り込み訂正した。

(3) 研究課題

- ・ 園内研究（絵画製作）の充実を図るため、保育者の絵画に対する捉え方、実践の積み重ねで、子どもと共に自信が付いてきた。
保育者に絵画指導をしていただいた増地先生の、子どもへの言葉の掛け方や理事長先生の普段の保育実践のご指導の下、確実に専門性のある保育ができています。

3. 職員構成

	29年度	備考
園長	1	
主任保育士	1	
保育士	9	
保育士（パート）	4	
事務長	1	
事務員（パート）	1	
調理担当	3	業者委託

4. 施設、設備の整備

- ・第2園庭に物置設置のお陰で移動遊具、避難トイレ、移動テントを収納できたので、活動しやすくなった。
- ・乳幼児の玩具充実で遊びの輪が広がり、保護者からも良い物が置かれていると好感を持たれている。
- ・防災の食品、薬品備蓄を補充することにより、消費期限の品物を処理し易くなった。

5. 収支計画 別紙にて

6. その他

- (1) 延長保育の人数が増え、にぎやかな延長保育時間を過ごせるようになった。遊びの内容もいろいろな種目を工夫することによって、静と動の活動がバランス良くできている。
- (2) 短時間保育児がゆったりと朝の会に参加できるように、受け入れの保育者の姿勢に急かさず一人ひとりの気持ちに寄り添っていた。
- (3) 子育て支援活動の内容の日程の組み方や活動内容の目新しい工夫で、地域の方に喜んで貰えている。
- (4) 招聘講師による指導により、新たな保育内容の充実が図られ、保育者の考え、指導方法の工夫が見られ、自信に繋がっている。
- (5) 朝の会の短い時間に、心身共に健康で豊かに過ごせる一時となっている。
- (6) 2園間での会議の密度が高くなり、それぞれのリーダーに考える力が付き、発言できる能力が高まったことにより、行事の充実にも繋がっている。
- (7) 2園間の交流の充実は、保護者参加の時間は働いている時間の違いから合わせ難いので、お泊り保育の迎えの時間を利用し、互いの子どもの活動をビデオで観て貰ったり、運動の会で2園の親競争をしたりすることにより、少しでも気持ちの交流を図った。
- (8) ふじの子、ふじの子第二保育園の特徴を構築していくことができている。
開園以来、初めて雨に合い、運動の会を急遽体育館でしたが、プログラムを変更することなく予定通り行えた。特に、床でのバンブーダンス、大縄跳びでは、子どもたちの笑顔が一杯見られた。けん玉は、リズムに乗って一曲終わるまで、大皿、小皿と乗り換えできる子どもが複数出てきた。
- (9) 第二園庭での活動は、大いに子どもの心に活動意欲が湧き、寒い日でも汗を掻くほど楽しめた。
- (10) 薄着は保護者にとって、未知の世界のように臆病になっている。風邪を引いて欠席すると仕事を休まなければならないからだ。しかし、子どもの方から服を一枚ずつ脱いでいき、冬でも半袖、半ズボンになり、肌を鍛えていくことで保護者に理解して貰えるようになっていく。